

2005 年度 小委員会活動成果報告

(2006 年 2 月 7 日作成)

小委員会名	各種補強組積造設計法小委員会		主 査 名：菊池 健児 就任年月：2005 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 壁式構造運営委員会		委員長名：和田 章 主 査 名：山崎 裕
設 置 期 間	2005 年 4 月 ~ 2009 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>[目的] 各種補強組積造の構造設計法の再点検を行い、相互に整合性ある合理的な設計法を検討する。</p> <p>[活動計画]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2005 年度：各種補強組積造設計法の資料収集 ・ 2006 年度：各種補強組積造設計法の再点検・再評価 ・ 2007 年度：補強組積造の共通的设计手法の検討と新しい設計法の骨子の作成 ・ 2008 年度：各種補強組積造の新しい設計法の提案 		
委員構成 (委員名(所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <p>主査：菊池健児(大分大学)，幹事：加村隆志(日本工業大学)，松村 晃(神奈川大学) 委員：青木功(エスビック)，五十嵐泉(神奈川大学)，植松武是(北海道立北方建築総合研)，大塚貴裕(久保田セメント工業)，黒木正幸(大分大学)，富岡俊輔(赤城商会) 浪田裕之(構造計画研究所)，西山光昭(日本工業大学)，根井 浩，信澤宏由(前橋工科大学)，前田敏雄(前田建築構造事務所)</p>		
設置 WG (WG 名：目的)	なし		
2005 年度予算	370,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/kouzou/s5/organ/organ.html	

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	壁式構造運営委員会直属の「メーソンリー構造規準改定版編集WG」と「コンクリートブロック塀規準改定 WG」に協力して、「壁式構造関係設計規準集・同解説(メーソンリー編)」の改定版を 2006 年 3 月に刊行予定。
講習会	壁式構造運営委員会直属の「メーソンリー構造規準改定版編集WG」と「コンクリートブロック塀規準改定 WG」に協力して、「壁式構造関係設計規準集・同解説(メーソンリー編)」の改定講習会を 2006 年 3 月に東京と大阪で開催予定。
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	わが国おける各種補強組積造の設計規準・指針等の歴史的変遷を調査・整理し、これらの規準等設計法に関する資料を収集し、その設計法について検討を開始した。また、米国の組積造設計規準を収集した。初年度の目標は達成した。
委員会活動の問題点・課題	予算(旅費)の制約下における委員会開催方法の工夫